

ノボ ルディースク ファーマ株式会社 会社案内

変革を推進する

ロシーニ
ロシーニはインドで、1型糖尿病とともに生きています。

ノボ ノルディスクは、1923年創立のデンマークを本拠とする世界有数のヘルスケア企業です。

私たちのパーパスは、変革を推進し、糖尿病および肥満症、血液系希少疾患、内分泌系希少疾患などのその他の深刻な慢性疾患を克服することです。

その目的達成に向け、科学的革新を見出し、医薬品へのアクセスを拡大するとともに、病気の予防ならびに最終的には根治を目指して取り組んでいます。

ノボ ノルディスクは現在、80カ国に約4万4,000人の社員を擁し、170カ国以上に製品を届けています。

目次

社長メッセージ	03
ノボ ノルディスクの歴史	04
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社について	05
ノボ ノルディスクの価値観	06
サステナブルビジネスアプローチの経営原則	07
究極のイノベーションの追求	08
社会への取り組み	10
人材育成への取り組み	14
働く環境への取り組み	15

一目で見るノボ ノルディスク

糖尿病、肥満症、血友病および成長障害の分野で働く



本 社：デンマーク
関連会社：80カ国に関連会社があります¹。



製 品：170カ国以上でノボ ノルディスクの製品を販売しています¹。



患 者：世界で3,000万人の患者さんが、ノボ ノルディスクの糖尿病ケア製品を使用しています¹。
世界で使用されるインスリンの約半分はノボ ノルディスクの製品です¹。



R & D：中国、デンマーク、インド、米国、英国に研究開発センターがあります¹。



従 業 員：世界で約4万4,000人を雇用しています¹。
日本では約1,000人が働いています。



生産拠点：世界9カ国（アルジェリア、ブラジル、中国、デンマーク、フランス、日本、ロシア、英国、米国）に生産拠点があり¹、国内唯一の生産拠点は、郡山工場（福島県郡山市）です。

1. Novonordisk.com. Accessed November 2020

糖尿病やその他の慢性疾患の患者さんのより健康で、より良い生活のために

ノボ ノルディスクのパーパスは、「変革を推進し、糖尿病やその他の深刻な慢性疾患を克服する」ことであり、社会に価値を提供する持続可能な企業を目指しています

ノボ ノルディスクは、1923年にデンマークに設立されたグローバルヘルスケア企業です。

私たちは、設立から約100年にわたり、糖尿病、成長障害、血友病、肥満症とともに生きる方々によりよい治療の選択肢を提供するため、研究開発における科学的革新を推進しています。医薬品へのアクセスをグローバルに拡大し、患者さんの命を救う製剤をお届けすることに加えて、病気の予防や患者さんの心理的ケアも提供しながら、最終的に根治を目指しています。

私たちは、慢性疾患と関連のある社会課題の解決に貢献することは非常に重要であると考えています。また、「Circular for Zero -循環型ビジネスで環境負荷ゼロを実現する-」戦略に基づき、気候変動問題を食い止めることに貢献する真の意味で環境に配慮した持続可能な企業であることを目指しています。ノボ ノルディスクのサステナブルビジネスアプローチは、「社会に対する責任」、「環境に対する責任」、「財務・経済に対する責任」の3つの柱によって成り立っており、常にこの3つの責任を考慮し、ビジネスを行う上での意思決定が行われています。これは、私たちの会社の定款で定められた経営原則であり、世界中の従業員が共有する価値観である「ノボ ノルディスク ウェイ」の中に明文化されています。日本における事業活動は、私たちのパーパスに基づいており、患者さんや社会にとっての利益が念頭に置かれています。

ノボ ノルディスクの日本法人であるノボ ノルディスク ファーマ株式会社は1980年に設立され、東京本社をはじめ、全国54カ所に営業拠点と、福島県に国内製造拠点である郡山工場があります。1,000名以上の社員が、日々製品をお届けする患者さんに対して大きな責任を持ち活動しています。私たちは、「変革を推進し、糖尿病やその他の深刻な慢性疾患を克服する」というパーパスの達成に向け、力強く歩み続けています。

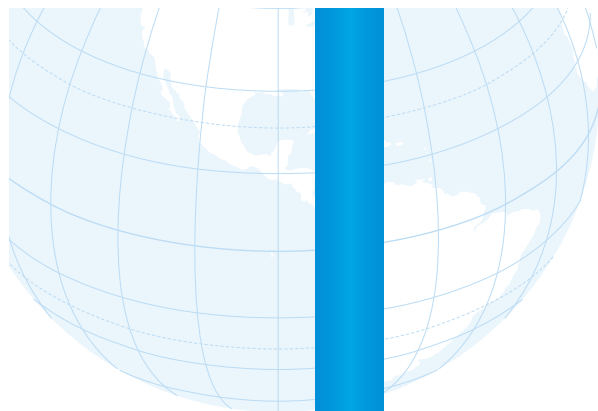
2020年12月

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社 代表取締役社長
オーレ ムルスコウ ベック



ノボ ノルディスクは糖尿病ケアの変革を推進しながら約100年の歴史を歩んでいます

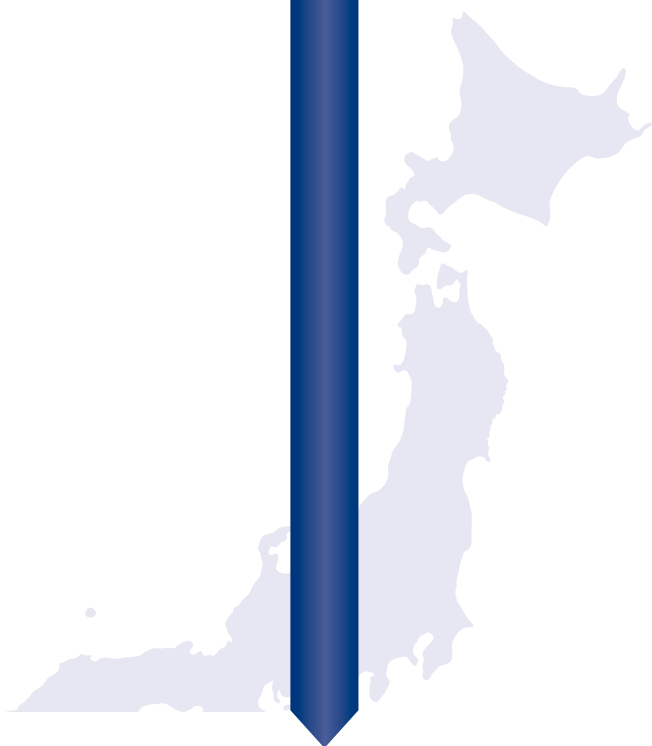
ノボ ノルディスクのイノベーションの歴史

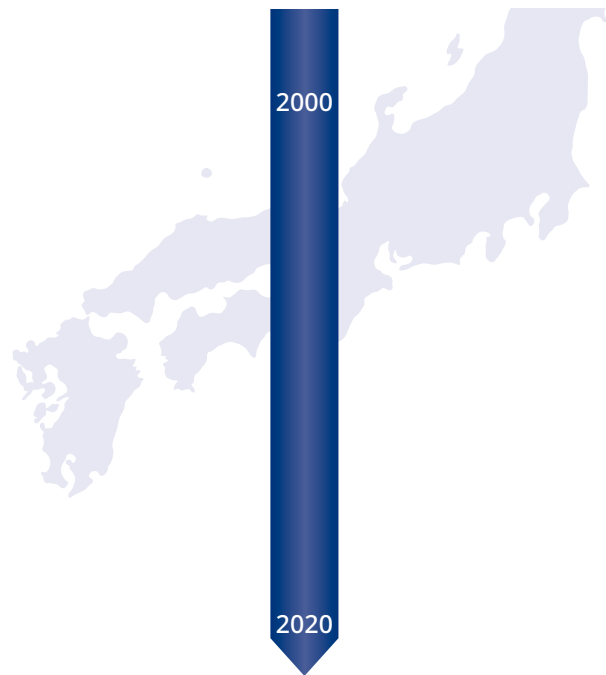


- 1921 **インスリンの発見**
2名のカナダ人研究者が膵臓ホルモンの一種であるインスリンを発見
- 1922 **北欧におけるインスリンの製造許可を取得**
ノボ ノルディスクの創業者であるアウグスト クロウとデンマーク人医学博士のハンス クリスチャン ハーゲドンが、インスリンを北欧で製造・販売する許可を取得
- 1923 **北欧初のインスリン製剤を発売**
死を待つしかなかった1型糖尿病の治療方法を変革
ノルディスク インスリン研究所の創設
- 1925 **初のインスリン注入器を発売**
患者さんが安心して自分で正しい量のインスリンを注射できるように設計
- 1946 **世界初の結晶性プロタミンインスリンを開発**
動物インスリンの作用時間の延長による、注射回数の削減を実現

- 1955 **ノボ社のインスリン製剤が国内で流通開始**
- 1975 **高度精製(モノコンポーネント、MC)インスリンの発売**
製品の純度を高め、注射部位に頻発したアレルギー反応の軽減に貢献
- 1976 **ノルディスク社のインスリン製剤が国内で流通開始**
- 1977 **下垂体抽出ヒト成長ホルモン製剤の発売**
- 1980 **ノボ薬品株式会社設立**
- 1984 **日本ノルディスク株式会社設立、ノボ薬品厚木工場稼働**
国内におけるインスリン製剤の安定供給を確保
- 1985 **半合成ヒトインスリン製剤を発売**
動物インスリンのアミノ酸配列を置換し、ヒト型のインスリン製剤を開発
- 1988 **ペン型インスリン注入器を発売**
インスリンカートリッジを装着しワンプッシュ2単位の自己注射が目立たず簡便に実施できるように
- 1990 **ノボ ノルディスク ファーマ株式会社発足(ノボ薬品と日本ノルディスクが統合)**
- 1992 **ヒトインスリン(遺伝子組換え)製剤を発売**
- 1994 **インスリンプレフィルド製剤を発売**
インスリンカートリッジと使い捨ての注入器があらかじめセットになった製剤で、インスリンの自己注射はさらに簡便に

1950





- 1998 **郡山工場本格稼働**
ノボ ノルディスクの生産供給部門を代表する21世紀のモデル工場として稼働開始
- 2000 **遺伝子組換え活性型血液凝固第Ⅶ因子製剤を発売**
リキッドタイプのヒト成長ホルモン製剤と専用のペン型注入器の発売
- 2001 **超速効型インスリンアナログ製剤を発売**
食後のインスリン追加分泌をより忠実に再現し、食前注射が可能に
視力が弱く手指の力の弱った糖尿病患者のニーズに応えたインスリンプレフィルド製剤を発売
- 2004 **ヒト成長ホルモンのペン型プレフィルド製剤を発売**
- 2007 **持効型溶解インスリンアナログ製剤を発売**
- 2010 **ヒトGLP-1アナログ製剤を発売**
- 2014 **遺伝子組換え血液凝固第Ⅷ因子製剤を発売**
- 2015 **1本のペンに持効型溶解インスリンと超速効型インスリンを配合した溶解インスリンアナログ製剤を発売**
遺伝子組換え血液凝固第Ⅲ因子製剤を発売
- 2018 **ペグ化遺伝子組換え型血液凝固第Ⅸ因子製剤を発売**
- 2019 **基礎インスリンとGLP-1受容体作動薬の配合剤を発売**

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社は1980年に設立されました

患者さん、医療機関の方々に、いつでも安心して使っていただける製品をお届けすることが、私たちの使命であると考えています。

ノボ ノルディスクのインスリン製剤は1950年代より国内に流通しており、糖尿病の患者さんの治療改善に長らく貢献してきました。現在では約1,000人の社員が働いています。主な事業内容は医療用医薬品、医療機器の開発、輸入、製造、販売で、主な事業領域は糖尿病領域と、血友病や成長障害の治療薬を含むバイオフーマ領域です。

東京本社を中心として、北海道から九州・沖縄まで各地に営業拠点を構えており、福島県郡山市には工場を展開しています。



郡山工場は1998年から稼働し、ノボ ノルディスクがグローバルで展開するプロダクトサプライネットワークの一つです。国内で流通する全ての当社製品について、高い品質を確保しつつ安定供給できるよう、最新鋭の技術と設備を駆使し、製品の受け入れから出荷までコンピューターで一元管理した生産を行っています。

ノボ ノルディスクには確固たる価値観があります

ノボ ノルディスクのビジョン・価値観・行動指針であるノボ ノルディスク ウェイは、私たちが意思決定を行うときに、その考え方を裏付ける指針となるものです。



ノボ ノルディスク ウェイ

1923年、デンマーク人の創業者が糖尿病を変えるための旅を始めました。

ノボ ノルディスクには現在、世界中に数万人もの社員がおり、情熱とスキルと決意を持って、糖尿病やその他の深刻な慢性疾患を克服するための変革を推進しています。

- 私たちは、事業を行う全ての疾患領域をリードすることを目指しています。
- 私たちは、革新的なバイオ医薬品を創出し、世界中の患者さんに届けることに貢献します。
- 私たちは、事業を成長させ競合他社より優れた業績を上げることで、患者さんがより良い生活を送ることを助け、株主に魅力的な収益で報い、コミュニティに貢献することができます。
- ノボ ノルディスクの経営理念は、財務、社会、環境への配慮のバランスをとるというもので、私たちはそれを「トリプルボトムライン」と呼んでいます。
- 私たちはオープンかつ正直であり、意欲的で責任を持った行動をとり、すべての人々を尊重します。
- ノボ ノルディスクは、社員に自己の潜在能力を発揮させる機会を提供します。
- 私たちは、クオリティと企業倫理について決して妥協しません。

私たちは毎日、患者さんのため、社員のため、株主のために長期的に何が最善なのか常に念頭に置きながら、難しい選択をしなければなりません。それが私たちのあり方、ノボ ノルディスク ウェイです。

サステナブルビジネスアプローチの経営原則に沿い バランスのとれた意思決定をしています

ノボ ノルディスクは、健全な社会、健全な環境、そして健全な財務・経済こそが、長期的にビジネスを成功させる基盤であると考えています。

ノボ ノルディスクでは患者さんを中心に、社会、環境、財務・経済の3つの側面で責任を果たし、短期的な売り上げと長期的な利益のバランスをとった意思決定を行うことを経営の原則として定款に明記しています。

サステナブルビジネスアプローチでは、私たちのパーパスである「変革を推進し、糖尿病やその他の深刻な慢性疾患を克服する」をトライアングルの中心に据え、私たちが日々製品をお届けする何百万人もの患者さんに対して担う責任を示しています。このパーパスにより導かれた事業活動を行うことで、全てのステークホルダーの皆さまへ価値を創造すること、持続可能な企業であることを目指しています。



エッセンシャルズ

1. 私たちは、患者さん中心のビジネスアプローチをとることによって価値を創造します。
2. 私たちは、意欲的な目標を設定し、エクセレンスを追求して仕事に取り組みます。
3. 私たちは、財務、環境、社会面における業績に対して責任を持ちます。
4. 私たちは、ステークホルダーの利益となるイノベーションを提供します。
5. 私たちは、主要なステークホルダーと良好な関係を構築し、維持します。
6. 私たちは、全ての人々を尊重します。
7. 私たちは、一人ひとりの業績や能力開発を重視します。
8. 私たちは、健全で魅力的な職場環境を整えます。
9. 私たちは、あらゆる行動においてアジリティとシンプルティを追求します。
10. 私たちは、クオリティと企業倫理について決して妥協しません。

究極のイノベーションを追求し、 アンメットメディカルニーズに 応えます

製薬産業を取り巻く環境は大きく変化しています。ノボ ノルディスクは限られた疾患領域に特化し、長年培ってきた病気に対する深い理解と洞察を持つことが強みです。これらを生かし、イノベーションの目標値を高く設定し、他の治療領域への参入や外部とのパートナーシップの可能性も追求し、アンメットメディカルニーズに応えていきます。

糖尿病

糖尿病はノボ ノルディスクの手がける主力の治療分野で、自己注射で使用するインスリン製剤とGLP-1アナログ製剤*1を取り扱っています。インスリン製剤では、食事の直前に投与する超速効型インスリン製剤や、1日1回 投与する持効型溶解 (basal) インスリン製剤、超速効型と持効型インスリンを配合した配合溶解インスリン製剤、そして持効型溶解 (basal) インスリンとGLP-1アナログを配合した製剤など幅広い製品を取りそろえています。

GLP-1は腸管から分泌されるホルモンで、世界で初めて、ヒトGLP-1アナログを糖尿病治療薬として応用しました。自己注射での治療においては、注射をできる限り簡便で正確に行えるように、革新的で耐久性の高いプレフィルド型注入器も豊富に展開しています。現在では1型糖尿病の根治を目指した幹細胞治療の研究にも取り組んでいます。また、幹細胞治療の技術は、将来的には他の深刻な慢性疾患治療へも拡大する予定です。





成長障害

ノボ ノルディスクは40年の歴史を持つ成長ホルモン療法のパイオニアです。ノボ ノルディスクは世界で初めてカートリッジに充填したリキッドタイプの成長ホルモン製剤を開発し、今では世界で最も多く使われています。これからも治療を必要とする患者さんの生活改善にイノベーションで貢献します。

血友病

ノボ ノルディスクは血友病や希少な出血性疾患の患者さんの出血治療における重大なアンメットメディカルニーズに応えるため、遺伝子組換えタンパク質の開発・製造の知見を活用し血友病A治療薬、血友病B治療薬、血液凝固第VII因子製剤を開発し、1996年*2に治療薬として提供を開始しました。インヒビターを保有する血友病の患者さんは少数であるものの、当時は他に治療薬がありませんでした。これを機に、ノボ ノルディスクは血友病や希少な出血性疾患の患者さんの生活改善を目指し、幅広い種類の医薬品を提供し、さらに開発を進めています。現在では全ての種類の血友病治療薬を提供しております。

肥満症

肥満の患者さんの数は世界的に大きく増加しており、世界保健機関(WHO)等の保健機関により、肥満は長期的な管理を必要とする慢性疾患であると認識されています。一方、日本では日本肥満学会において、肥満とは区別したものとして、肥満症*3を疾患として定義しています。しかし、肥満症の治療薬は現在ほとんどなく、アンメットメディカルニーズの大きな領域です。肥満症はさまざまな健康障害のリスクであり、糖尿病の原因にもなります。そのため、糖尿病の患者数を減らすためには、肥満症の予防や治療にも取り組む必要があると考えています。

ノボ ノルディスクは、肥満症ケアにおける重大なアンメットメディカルニーズに応えるべく力を尽くすとともに、この疾患分野の科学的な進展を後押しし、新しい肥満症治療薬を開発する目標に熱意をもって取り組んでいます。

*1 GLP-1(グルカゴン様ペプチド-1)は、食事に反応して分泌されるヒトの腸管ホルモン

*2 日本では2000年発売

*3 肥満症とは肥満に起因ないし関連する健康障害を合併するか、その合併が予測される場合で、医学的に減量を必要とする病態をいい、疾患単位として取り扱う(肥満症診療ガイドライン2016「肥満症の定義」より)

超高齢化に伴い糖尿病の有病者が増加し、これまでと異なる医療の質が求められています

糖尿病患者数が増加の一途をたどる現在、糖尿病の治療はより良い医薬品の開発に加え、患者さんがリスクに気づき、患者さんや家族を支える仕組みが必要になっています。

高齢化に伴い糖尿病の患者数は増加

糖尿病の有病者数の増加は世界的な課題で、その背景には運動不足、食生活の欧米化、過体重や肥満があります。日本においては、それに高齢化が加わり糖尿病の有病者数は増加の一途をたどっており、直近の推計では約1,000万人いるとされています¹。

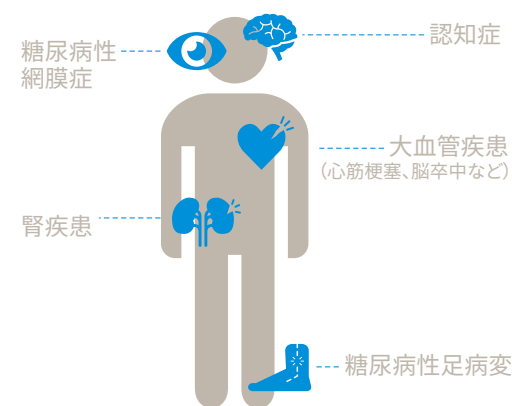
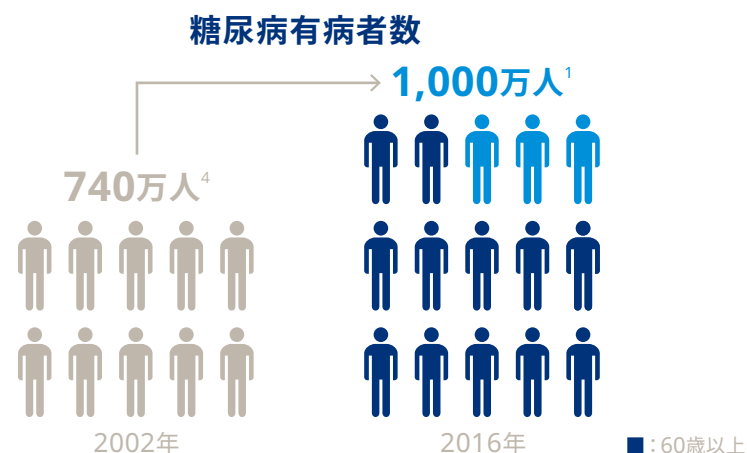
糖尿病は初期の段階では血糖値が高くても自覚症状がないため、重篤な身体的症状が発現するまで、何年も気づくことなく進行する場合があります²、多くの患者さんは生活習慣の改善や治療に前向きに取り組めないでいます。

糖尿病はリスクに早期に気づき、対処することが重要

糖尿病患者さんの3人に1人は、将来への不安、治療に関する時間的負担、合併症への対処など、糖尿病が原因となる心理的負担を感じています³。また、糖尿病によりさまざまな合併症を併発すると、患者さん本人はもちろんですが、家族にも大きな影響を与えます。このため、糖尿病患者さんの身体面および心理面の健康を維持するためには、革新的な医薬品の開発に加え、患者さんがリスクに気づく環境や教育、そして患者さんや家族を支える社会の仕組みが必要であると考えます。

- 国内の糖尿病有病者数は増加の一途をたどっており、糖尿病患者さんの80%以上は60歳を超えています¹。

- 糖尿病により血糖値が高い状態が長期間続くと、全身の血管に悪影響を及ぼしさまざまな合併症を引き起こす可能性があります^{2,5}。



1.厚生労働省:平成27年国民健康・栄養調査報告, 2017

2.International Diabetes Federation:IDF Diabetes Atlas 7th edn:Brussels, Belgium, 2015

3.Nicolucci A et al.: Diabet Med 30(7):767-777, 2013

4.厚生労働省:平成14年糖尿病実態調査, 2002

5.日本糖尿病学会 編・著:糖尿病治療ガイド2016-2017 文光堂:77, 2016

ノボ ノルディスクは、患者さんが糖尿病を克服し、より良い生活を送るためのさまざまな活動に取り組んでいます

糖尿病を克服することを目指し、私たちは日々革新的な製剤の開発を続けています。そして、これまで多くの患者さんが抱える課題に答えてきました。しかし、製剤だけで糖尿病のすべての課題を解決できないことも事実です。患者さんの心理的・社会的な課題も解決していかなければ、本当の意味で糖尿病を克服することには繋がらない。そんな思いから、ノボ ノルディスクではChanging Diabetes®という活動に取り組んでいます。

都市における糖尿病患者の増加に構造的に取り組む – Cities Changing Diabetes

糖尿病とともに生きる人々の3人に2人が都市部に暮らしており、都市では糖尿病がまん延しています。ノボ ノルディスクは、多様なパートナーと連携し、都市における糖尿病増加に取り組むため、Cities Changing Diabetesと呼ばれるプログラムを世界で立ち上げました。本プログラムでは、都市において糖尿病が増加している主な要因を理解し、知見を共有し、糖尿病患者さんのケア改善のために行動していくことにより、都市に住む糖尿病患者さんの健康改善を目指しています。

2型糖尿病患者さんの学ぶ機会を提供する – 歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー*

糖尿病とともに健康的に暮らすことの重要性について広めるため、ノボ ノルディスクは公益社団法人日本糖尿病協会と1992年から「歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー」を共催しています。全国で開催されている本イベントは糖尿病患者さんが友人や家族とともに、糖尿病に関する講演やゲームなどを通じて、良好な血糖コントロールのために必要な知識や、糖尿病治療に欠かせない運動療法について楽しく学ぶ機会を提供しています。

* 2020年、2021年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止

Prevention



ノボ ノルディスクは糖尿病とともに生きる人たちが、もっと自分らしく、ずっと笑顔で暮らせるように支え続けます

糖尿病とともに生きる人々へ勇気を与え応援するーチーム ノボ ノルディスク

チーム ノボ ノルディスクは、世界初の全員が1型糖尿病患者で構成されたプロサイクリングチームです。チーム ノボ ノルディスクのミッションは、糖尿病とともに生きる人々を元気づけ、治療に積極的に取り組み、それぞれの人生の目標に向けて生きていくことを応援することです。

選手自らがお手本となり、世界トップクラスのレースに挑戦し「糖尿病を抱えていてもできること」を示すことによって、糖尿病とともに生きる人々を励まし、夢を追い続けていくための希望を与えています。

1型糖尿病の子どもたちが病気とともに生きる力をつける手助けをするー思い出のサマーキャンプスケッチコンクール

2001年より公益社団法人日本糖尿病協会後援のもと「思い出のサマーキャンプスケッチコンクール」を実施しています。これには、日本糖尿病協会が主催する小児糖尿病サマーキャンプの参加者を対象に、絵を描くことを通じて観察力を鍛え、自分自身の身体を把握する力を高め、血糖コントロールに活かしてほしいという願いを込めています。

ノボ ノルディスクでは、糖尿病患者さんやそのご家族に、糖尿病に関する情報や、糖尿病とともに前向きに過ごしてもらうための役立つ情報を提供するウェブサイトである「糖尿病サイト」を運営しています。

詳しくはこちらから

糖尿病サイト



バイオ医薬品での治療が必要な疾患領域でも治療薬の提供を超えた取り組みを行っています

バイオファーマ領域では現在、血友病や希少な出血性疾患、成長障害のための治療薬を主に取り扱っています。これらは患者数は糖尿病ほど多くないものの、診断と治療を適切に行うことが、患者さんやご家族のQOL改善に重要な疾患です。ノボ ノルディスクは「患者さんのQOLを向上させる」というゴールに向けて、さまざまな方向から全力で取り組んでいます。

血友病に対する取り組み－血友病と生きる人々のより良い明日を築くために－

ノボ ノルディスクは、Changing Haemophilia® (血友病と生きる人々のより良い明日を築くために) のコンセプトのもと、製品の開発や供給を行うとともに、血友病や血液凝固異常症とともに生きる人々の治療と人生に貢献するためのさまざまな取り組みを行っています。

途上国では血友病は診断率や治療への認識が低い疾患であり、多くの患者さんが今も診断や十分な治療を受けることができていない状況です。2005年に設立したノボ ノルディスク血友病財団 (NNHF) では、途上国における診断と治療の能力開発、血友病の診断と登録、疾患啓発や教育の3領域を柱とした、さまざまなプログラムを展開しています。

国内では血友病患者さんのための運動イベントや啓発活動を4月17日の世界血友病デーに合わせて開催し、また、モバイル輸注記録システム「ゆちゅレコ®」を2010年より提供し、輸注記録の電子化・簡便化にも取り組むとともに、2020年9月には血友病患者さんご家族のためのサイト「クラブヘモフィリア (www.clubhaemophilia.jp)」をリニューアルしました。

成長障害に対する取り組み－成長ホルモン治療に関わる全ての人の幸せのために－

子供の身長には個人差があり、成長過程において身長差がうまれるのは当然です。ただ、低身長の子供のなかには、医学的な原因が隠れているケースがあることもわかっています。

ノボ ノルディスクは、こうした子供の低身長症の早期診断、早期治療を目的とした啓発活動を行っています。

全国各地で小児科医師や医療従事者に対して、子供の成長や成長障害を起こしうる疾患に関する情報提供を行い、早期診断・早期治療の重要性について訴求しています。

また、疾患啓発と成長曲線の普及促進を目的とした「わが子の身長 はかろう! つけよう!」キャンペーンを2011年から実施しています。子供の低身長について分かりやすく解説したパンフレットや身長測定ポスターを無料で配布しています。

また、2017年からは、お子様の身長と体重を簡単に入力し、成長曲線に記録ができるスマートフォン向けアプリ「すくすく成長曲線」を無料で提供しており、2020年には成長障害・低身長のお子様のための相談室「nordicare.jp」をリニューアルしました。



従業員一人ひとりが能力を発揮し多様な価値観を育める働きがいのある職場環境です

ノボ ノルディスクの成功は従業員とその能力によって支えられています。従業員の持続可能なキャリアを後押しする制度だけでなく、従業員自身が自らの成長やキャリアにオーナーシップを持ち、より多様な経験を積みながら自身のキャリアを開発する公平な機会を提供しています。

社員のOn-the-job Experienceを向上する3つの人事制度

EENe

Employee
Empowered
Next Career

求人オープンになった場合に、全社員に公開して応募を募り、面接やアセスメントを通じて選ばれた最適な社員がそのポジションにアサインされる制度(2018年10月スタート)

直近の実績(2020年12月現在)
2019年20名
2020年20名

IDP Initiated
New Assignment

IINA

社員が上司と合意したIDP (Individual Development Plan) に基づいて新規ポジションや新規担当施設に就く制度(2020年3月スタート)

直近の実績(2020年8月現在)
2020年59名

SODA

Secondment
Development
Action

最長1年間、現在の部署に在籍しながら、他の部署の仕事を体験できる制度(2020年7月スタート)

直近の実績(2020年10月現在)
2020年8名

働きがいのある就業環境

プライベートと仕事のバランスがよい状態であってこそ、従業員は高いモチベーションをもち、仕事に対し十分に能力を発揮できると考えています。ノボ ノルディスクでは、魅力的な職場環境を提供し、従業員のさまざまな働き方を支援できるよう各種制度を整えることで、従業員のエンゲージメントを高め、持続的なビジネスの実現を目指しています。

ダイバーシティと機会均等

ノボ ノルディスクでは、全ての人に平等な機会を提供することをノボ ノルディスク ウェイに掲げています。

仕事上での人との交流は、従業員同士であっても、仕事でかかわる社外の人に対しても、敬意を払い、オープンかつ正直に、そして礼儀正しい態度で行うことを重視します。また、多様な人材があつまることで、組織が活性化し、イノベーションが生まれると信じています。

このため、グローバル人材の育成にも力を入れ、ダイバーシティとインクルージョンの課題にも積極的に対処しています。職種や部署、勤務地を超えたネットワーキングによって、キャリア開発や働き方についてのさまざまな工夫・アイデアを共有し、互いに高め合う取り組みを実施しています。

柔軟な働き方

長い人生の間には、結婚や出産、介護といったさまざまなライフイベントがあります。ノボ ノルディスクでは、優秀な人材を惹きつけ、従業員がさまざまな境遇に直面しても働き続けられるようにするための制度を整えています。

また、いつでも、どこでも働ける環境を提供するため、内勤業務においてはテレワークも推進しています。さらに有給休暇の取得率や健康診断の受診率の向上にも力を入れ、従業員が健康的な状態で仕事とプライベートを両立できるよう取り組みを進めています。



マネジメントの仕事を選択するのは自らのキャリアにとって自然なことだった

ノボ ノルディスクに新卒で入社して7年間、東京都多摩地区でMRとして地域医療に携わり、その後4年間は東京都心部の大学病院や基幹病院を担当しました。MRとしてのキャリアを積むにつれ、自分自身の仕事が徐々に周りへの影響力を持ち始めたことに気づきました。後輩の指導、担当する医療機関が持つネットワークを駆使した戦略、上司であるマネージャーへのサポートなど、自分の仕事の結果が自分以外の誰かにも影響を与える環境で、自らのキャリアにおける次の目標が自然と見えてきました。それはマネジメントの仕事を通して自分のチームと一緒に成長することでした。

2018年に社内公募制度で営業のマネージャー職の募集がありました。社内での書類選考、面接を進めるにつれ、自分がキャリアをどのように切り開いていきたいのか、その道がよりクリアになりました。自分に足りないものは何か、目指すものは何かを模索することで新しいキャリアにチャレンジしたい気持ちはますます強まり、幸運にも現在のポジションに就くことができました。現在は鳥取県、島根県を管轄する地区のマネージャーとして、初めての土地で多くのことを学びつつ、信頼できる部下とともに新しいチームを築いています。

K.S.

鳥取県、島根県を管轄する山陰エリアのエリアマネージャー、2019年より現職。2008年に新卒で入社しノボ ノルディスクでのキャリアをスタート。東京都でMRとして10年間従事し、社内公募制度を利用して現職に着任。

営業のマネージャー職をしていた頃から、より良い組織開発に関心を持つようになりました。20年以上のキャリアを変えることには大きな決断と挑戦が必要でしたが、自分自身でキャリアを設計し、実現できることは素晴らしいことです。そしてこの会社にはその機会があります。

T.I.

1995年新卒入社。MRおよびエリアマネージャーとしての経験を生かし、現在は人事部でHRビジネスパートナーとして新たなキャリアをスタート。



MRに必要なのは専門的な知識だけではありません。顧客や周りの人に影響を与えることができる、行動変容のフックになれる人材が求められます。それをMRとして体感し、求められる人材を育てることができるトレーナーの職にチャレンジすることで、自らのキャリアの広がりを感じています。

M.Y.

2016年中途入社。MRとして従事した後に社内公募制度を利用して、現在はMR研修のトレーナーを務める。

life- changing careers™

ここには、人生を変える仕事がある。

ノボ ノルディスクでのキャリアをスタートしたのは
人とかかわる仕事がしたかったから。

マネジャーになった今でもその気持ちは変わりま
せん。顧客だけでなく、ともに働く仲間たちと一緒
に成長できる仕事に誇りを持っています。

自らのキャリアは会社から与えられるのではなく、
自分で選択し、切り開き、築き上げるものです。

(営業マネジャー、社内公募制度を利用して2019年より現職)

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

〒100-0005

東京都千代田区丸の内2-1-1

明治安田生命ビル

TEL. (03) 6266-1000 (代表)

FAX. (03) 6266-1800

www.novonordisk.co.jp



JP20NNG00006 (2020年12月作成)

